

(表1) 自動車関係諸税の概要 (筆者作成)

課税時	税目	創設年	暫定税率**	本則税率	税別	配分の比率
購入時	自動車取得税	昭和43年	取得価格の3%*	取得価格の3%*	都道府県税	地方に全額
保有時	自動車重量税	昭和46年	4,100円/0.5t*	2,500円/0.5t*	国税	国に3/4 地方に1/4
使用時	揮発油税	昭和24年	48.6円/ℓ	24.3円/ℓ	国税	国に全額
	地方揮発油税	昭和30年	5.2円/ℓ	4.4円/ℓ	国税	地方に全額
	軽油引取税	昭和31年	32.1円/ℓ	15.0円/ℓ	都道府県税	地方に全額
	石油ガス税	昭和41年	—	17.5円/ℓ	国税	国に1/2 地方に1/2

(表2) ロード・プライシングの手法と実施・検討例 (筆者作成)

実施方法など			実施の程度	
手法	目的	課金設定	実施(導入年～終了年)	導入検討中 or 計画中止
zone pricing	混雑緩和 環境改善	ピーク/オフピーク	シンガポール (1975～1998)	香港 ケンブリッジ(英)
area pricing	混雑緩和 環境改善	一律	ロンドン(2003)	
cordon pricing	混雑緩和 環境改善	時間帯別料金	シンガポール(1998)	東京 ランドスタッド
	混雑緩和 環境改善	ピーク/オフピーク	ベルゲン(1986) トロンハイム (1991～2005)	
		一律	オスロ(1990～2005)	
		時間帯別料金	ストックホルム (2007)	
point pricing	混雑緩和 収入獲得	ピーク/オフピーク	フランス A1号線 (1992) ソウル南山 1号、3号トンネル (1996)	
distance-based charge	収入獲得 環境改善	重量車対距離課金	スイス(2001)、オー ストリア(2004) ドイツ(2005) チェコ(2007)	オランダ、スウェー デン、フランス アメリカ